



# 大野つう元議員を刑事告発

## 政務活動費の不正で岐阜地検へ

岐阜市議会の政務活動費に関する不適切請求、不正請求など昨年11月議会をはさんで大きな問題となりました。発端となりましたのは、高橋正議員（当時）の珈琲豆の領収書を自ら作成した事件でした。2人目は、丸山議員の視察旅費等に関する問題が報道されました。この件は、市議会に政治倫理審査会の設置を求めることに発展しました。

3人目は、大野つう元議員の廃業ガソリンスタンドの領収書を使って、ガソリンの領収書を作成し政務活動費を岐阜市に不正請求した事件です。この件は、山県市などへの日帰り視察で「ガソリンを満タン近く入れた」と思われる領収書が存在し、数日後に他の市へ同じく日帰り視察が行なわれており、ここでも「ガソリンを満タン近く入れた」と思われる領収書が添付されていました。不自然な2枚の領収書の存在が発端です。

中日新聞の報道によれば、当該のガソリンスタンドが、領収書の日付には既に廃業していたことが判明。有印私文書偽造と思われる行為が判明しました。最初、1万数千円のガソリン代でしたが、研修会費でも不明瞭な件が発見されました。研修会費として請求されていた領収書の発行者名が、大野つう議員（当時）の後援会組織等ではないか？との疑問でした。中日新聞の取材に対し、大野つう元議員は一部を認めています。不正請求を修正して、大野つう元議員の返還額は約194万円と、返還者の中で最高額となりました。が、金額は自主的な返還の範囲内です。捜査されたものではありません。

### 告発文は県警捜査二課へも提出

これらの事件を憂慮された岐阜市民の別処雅樹さんが、昨年12月16日に大野つう元議員の行為を詐欺などの容疑で刑事告発され、告発文を岐阜地方検察庁へ提出されました。さらに、検察庁の要請で告発文を岐阜県警捜査二課にも提出されました。説明が待たれるところです。

事件報道当時、大野つう元議員は市社会福祉協議会会長、県防犯協会理事長の役職にありました。その後、これらの役職を辞められましたが、社協の理事職、支部長、防犯協会会員、自治会連合会会長などの職に止まられており、直ちに議員辞職された高橋正議員と明暗を分けていました。刑事告発後、自治会連合会会長を辞任され、防犯協会会員も辞任されたと見られます。防犯の役職はなくなりました。

連絡先 市会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

本郷自治会連合会の新会長は**乙部光弘**さん

**大野つう**氏は**連合会長**を辞任

**8日の成人式 新会長が主催**

本年の成人式は、来賓の挨拶だけでなく、はじめて「新成人の決意」が代表者（女性2人）によって述べられました。青少年育成市民会議の新企画。「来賓ばかりの挨拶」（松原のりかず もその1人ですが）と、聞くばかりの一方通行の成人式から、少し抜け出して新鮮な風が吹きました。

新会長は乙部光弘さんで、「代行」ではなく「連合会長」として紹介されました。皆さん助け合って、より良い自治会運営を目指して頂けると思います。

**返せば良い、というものではない！ 別処さん**

別処さん（1面記事の）は、告発にあたって「お金を返せばよいと言う事ではない」と訴えておられます。大野つう元市議の有印私文書偽造・同行使、虚偽公文書作成・同行使、詐欺などの容疑はお金を返せばその容疑が無くなったわけではありません。そもそも、「いずれの議員も報道が出てから返還しているが、ばれたから仕方がないので返したと受け取られても仕方がない」と指摘。

また、別処さんは「大野氏は返還額が約194万円と高額であり、防犯協会理事長など要職にある中での事件発覚であり、告発に踏み切った」と述べられました。更に政務活動費が「第二給料」となっている事に、市民の理解は得られない。と訴えられました。重要な点に「虚偽領収書の作成」は、他の事件と一線を画しています。



松原のりかず

☎058-253-2500